



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月28日
上場取引所 東

上場会社名 四国化成工業株式会社
 コード番号 4099 URL http://www.shikoku.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 兼 C. E. O. (氏名) 田中 直人
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理・情報システム部長 (氏名) 片山 和彦 (TEL) 0877-22-4111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,592	△9.6	1,262	△27.0	1,441	△19.2	946	△21.8
2020年3月期第1四半期	12,823	3.7	1,729	11.6	1,782	△4.5	1,209	△2.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,868百万円(552.8%) 2020年3月期第1四半期 286百万円(△59.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第1四半期	円 銭 16.82	円 銭 —
2020年3月期第1四半期	20.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第1四半期	百万円 97,337	百万円 71,222	% 72.4
2020年3月期	100,896	71,647	70.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 70,425百万円 2020年3月期 70,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 24.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△6.9	6,300	△19.7	6,600	△17.7	4,600	△18.0	82.82

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想については、本日(2020年7月28日)公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」もあわせてご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	55,877,263株	2020年3月期	58,948,063株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	337,995株	2020年3月期	1,900,015株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	56,293,678株	2020年3月期1Q	58,420,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため発出された緊急事態宣言を受け、各自治体からの休業要請や外出自粛要請の影響により、企業活動や個人消費が大きく収縮、景気は急速に悪化しました。宣言解除後も新しい生活様式の下で感染拡大防止を前提とした活動が続き、当面の間極めて厳しく停滞した状況が続くものと考えられます。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）の当社グループの売上高は115億92百万円（前年同期比9.6%の減収）、営業利益は12億62百万円（前年同期比27.0%の減益）、経常利益は14億41百万円（前年同期比19.2%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億46百万円（前年同期比21.8%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界規模での自動車メーカー、タイヤメーカーの生産調整を受けて、国内、海外ともに低調に推移しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素、浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、低調に推移しました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤塩素化イソシアヌル酸は、国内市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校プール授業中止などの影響によりプール薬剤の販売が低迷しましたが、家庭の衛生意識の高まりからくる消毒・殺菌需要の増加を受け、水回り設備（サニタリー）向け薬剤は好調に推移しました。米国市場は、春先からの好天や外出規制による家庭用プール向け薬剤の需要が増加し、好調に推移しました。

（ファインケミカル）

プリント配線板向けの水溶性防錆剤タフエースは、中国でのエレクトロニクスメーカーの稼働が正常化しつつあり、前年を上回る水準で推移しました。エポキシ樹脂硬化剤（イミダゾール類）を中心とする機能材料は、自動車関連用途では市況悪化の影響を受けたものの、新規開発品が伸張しました。

この結果、化学品事業の売上高は70億51百万円（前年同期比10.2%の減収）、セグメント利益は10億93百万円（前年同期比27.8%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

②建材事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴う建設工事の遅延が続き、住宅着工や設備投資が弱含む中で、壁材、エクステリアともに低調に推移しました。

この結果、建材事業の売上高は43億62百万円（前年同期比9.5%の減収）、セグメント利益は6億1百万円（前年同期比14.6%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品 (百万円)	3,149	2,189	69.5
有機化成品 (百万円)	2,859	2,877	100.6
ファインケミカル (百万円)	1,844	1,984	107.6
小計 (百万円)	7,854	7,051	89.8
建材事業			
壁材 (百万円)	419	355	84.7
エクステリア (百万円)	4,401	4,007	91.0
小計 (百万円)	4,821	4,362	90.5
報告セグメント計 (百万円)	12,675	11,414	90.0
その他 (百万円)	148	178	120.3
合計 (百万円)	12,823	11,592	90.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	1,970	15.4	1,476	12.7
北米	1,471	11.5	1,601	13.8
その他の地域	523	4.1	481	4.1
合計	3,965	30.9	3,559	30.7
連結売上高	12,823		11,592	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

財政状態は、総資産は、前連結会計年度末比35億58百万円減少し、973億37百万円となりました。主な増加は、投資有価証券13億47百万円、主な減少は、現金及び預金27億19百万円、受取手形及び売掛金15億60百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比31億32百万円減少し、261億15百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金10億8百万円、未払法人税等8億54百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比4億25百万円減少し、712億22百万円となりました。主な増加は、自己株式18億8百万円、その他有価証券評価差額金9億30百万円、主な減少は、利益剰余金30億78百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から72.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について、合理的に算出することが困難なことから未定としておりましたが、経済活動再開の動きが見えてまいりましたので、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年7月28日)公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,607	23,888
受取手形及び売掛金	13,057	11,496
電子記録債権	2,095	1,949
有価証券	11,000	10,995
商品及び製品	6,912	6,905
仕掛品	47	38
原材料及び貯蔵品	3,100	2,911
その他	283	329
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	63,103	58,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,148	5,071
機械装置及び運搬具（純額）	3,929	3,677
土地	8,849	8,849
建設仮勘定	736	1,233
その他（純額）	651	595
有形固定資産合計	19,315	19,427
無形固定資産	143	128
投資その他の資産		
投資有価証券	16,607	17,955
繰延税金資産	1,159	745
その他	570	569
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	18,333	19,266
固定資産合計	37,792	38,822
資産合計	100,896	97,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,530	5,521
電子記録債務	415	407
短期借入金	2,730	2,530
1年内返済予定の長期借入金	693	500
未払法人税等	1,356	501
その他	6,022	4,317
流動負債合計	17,747	13,778
固定負債		
長期借入金	7,157	8,008
繰延税金負債	1	6
再評価に係る繰延税金負債	1,111	1,111
役員退職慰労引当金	88	64
退職給付に係る負債	2,201	2,207
資産除去債務	379	379
株式給付引当金	23	22
その他	537	536
固定負債合計	11,500	12,336
負債合計	29,248	26,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,815	5,740
利益剰余金	56,063	52,985
自己株式	△2,183	△375
株主資本合計	66,563	65,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,972	2,903
繰延ヘッジ損益	△4	△2
土地再評価差額金	2,533	2,533
為替換算調整勘定	△109	△118
退職給付に係る調整累計額	△115	△108
その他の包括利益累計額合計	4,276	5,207
非支配株主持分	808	796
純資産合計	71,647	71,222
負債純資産合計	100,896	97,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	12,823	11,592
売上原価	7,777	7,179
売上総利益	5,046	4,413
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,110	1,142
広告宣伝費	219	101
給料	575	558
退職給付費用	46	44
役員退職慰労引当金繰入額	5	5
研究開発費	291	280
その他	1,068	1,019
販売費及び一般管理費合計	3,317	3,151
営業利益	1,729	1,262
営業外収益		
受取利息	3	8
受取配当金	215	198
雑収入	4	19
営業外収益合計	223	226
営業外費用		
支払利息	4	7
売上割引	33	32
為替差損	99	6
たな卸資産廃棄損	25	—
雑損失	6	0
営業外費用合計	170	47
経常利益	1,782	1,441
特別利益		
補助金収入	44	35
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	45	39
特別損失		
固定資産除却損	0	14
特別損失合計	0	14
税金等調整前四半期純利益	1,827	1,466
法人税等	617	529
四半期純利益	1,209	936
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,209	946

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,209	936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△917	932
繰延ヘッジ損益	13	2
為替換算調整勘定	△24	△8
退職給付に係る調整額	5	6
その他の包括利益合計	△923	932
四半期包括利益	286	1,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292	1,877
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2020年5月26日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式1,508,700株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,605百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2020年5月26日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、自己株式3,070,800株の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が75百万円、利益剰余金が3,338百万円、自己株式が3,413百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,854	4,821	12,675	148	12,823	—	12,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	56	57	△57	—
計	7,854	4,821	12,676	204	12,881	△57	12,823
セグメント利益	1,514	704	2,219	6	2,225	△495	1,729

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△495百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△495百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,051	4,362	11,414	178	11,592	—	11,592
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	87	87	△87	—
計	7,052	4,362	11,414	265	11,679	△87	11,592
セグメント利益	1,093	601	1,694	26	1,721	△459	1,262

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△459百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△459百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。